

若き日の信長

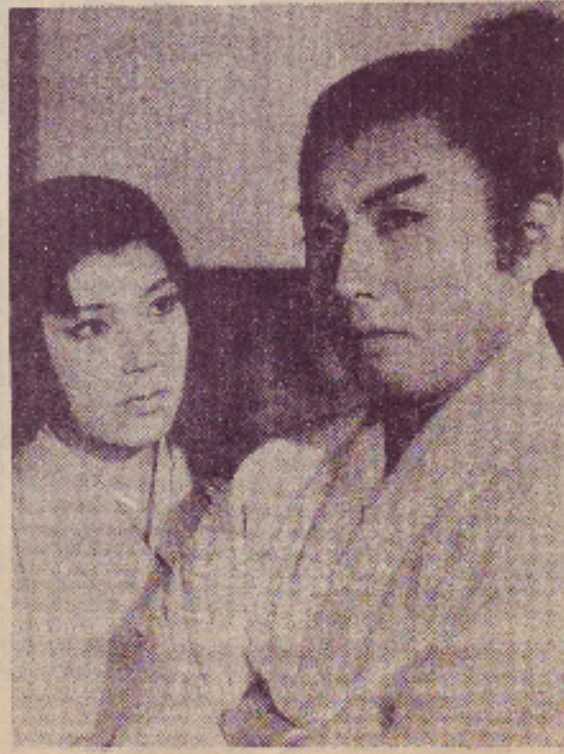


製作……………三重堂
企画……………大仏次郎
監督……………森永卓二
脚本……………藤田進一
原案……………菅原一死
音楽……………新藤兼人
美術……………内出好吉
監督……………佐野元二
監修……………菅原一死
撮影……………西郷正徳
編集……………村上信雄
字幕……………上原謙
効果……………上原謙

◇ スタッフ ◇

◇ キャスト ◇

上原謙……………七月智也
若尾文子……………若尾文子
高千穂ひづる……………高千穂ひづる
三宅邦子……………三宅邦子
小林桂樹……………小林桂樹
月形竜之介……………月形竜之介
日守新一……………日守新一
藤村泰次……………藤村泰次
長谷川裕見子……………長谷川裕見子
三宅邦子……………三宅邦子
藤村泰次……………藤村泰次
長谷川裕見子……………長谷川裕見子



◆ 脚本家の小宮山……………大矢野龍三
◆ 監督……………佐野元二
◆ 音楽……………新藤兼人
◆ 美術……………内出好吉
◆ 監督……………佐野元二
◆ 監修……………菅原一死
◆ 撮影……………西郷正徳
◆ 編集……………村上信雄
◆ 字幕……………上原謙
◆ 効果……………上原謙

………(detailed description of the film's plot and production details)



市川雷蔵の異色話題作……

炎上。における野心を時代劇で再現

これは、歌舞伎に新しい息吹きを入れようという意欲のもとに、大正次郎が西五洲演劇団のことに書き下した初の戯曲を映画化するもので、二十七年十月東京松竹製映社における初演以来、市川雷蔵の偉長は、彼のやり愛としてしばしば好評を得たもの。大映下は市川雷蔵の新たな魅力を求めて、昨年の「炎上」における野心を時代劇で再現しようといふ本年度上半期における意欲に満ちた異色話題作として製作するという。映画は、山口五洲六助の娘弥生が人質として清洲城に送られてくるところから、捕鯊師の合戦まで。戦国の亂世期に生れ、道徳の中から、營にたくましく成長して行く青年雷蔵の人間像を鮮やかに描き出さる時代劇として花くものだが、ことに戦国間の合戦は、御殿場を数千の人間を駆り、大雨、落雷をともなう大スケタル場面を展開、ワイド画面の雄兵を雄健なく表現するといふ。

雷蔵の織田信長のほか、平手勘十郎の長男、次男、三男、木下藤吉郎、弥生、竜田、林美作守とそれぞれ若き個性ある人物が登場するが、舞台にはない名古屋城の密偵小次郎の役を設けて、さらに興味を加えている。配役は目下慎重に選考中であるが、新藤、現代劇油からも広く人材を求め、何れもユニークな個性あるスターが起用される予定である。

雷蔵の若くしての監督生活をこの一作にかけたといふとまで云って、異常なアイトをみなぎらせているが、主演の重役も何れも充分の覚悟りようで一流品のオーラが感じれば、黒沢監督がおやりになるものに近いと思えますが、私としてはかつての青年雷蔵に大へん似た感じを受取っています。新しい時代の転換期に生れた一人の傑出した英雄、新しい理想で時代の流れを見つめながら行動する青年——こんなところに同じ年ごろの青年として、さぞく魅力を感じます。雷蔵は、たしかに人の意表をついた奇抜な行動で知られた人物ですが、ながらも野性的な個性であったとばかりいえないところがあります。それはよきよきされた繊細な神経と繊密な計算がその背後にあったということ。そういう意味では大へん新しい役の一つだと記しています」と早くも意欲の一端をのぞかせている。



◆物 語◆

美作が無事、病もが癒ゆる。世はまさに威風凛々の上——地方に勢力を伸ばすは、われこそは押上って天下にやうやうさんもの、此家柄そのの味を思っていた。

尾正五郎と牛の二、頼め薩州城に去る松田調長は、慶重を三ノ国に十倍の勢力を誇る今川宗元と相対した。

歴代松田家に忠義を誓う日高宗三、山口左馬助に今川方の降参におそれを抱き、主家を裏切つてこれと内応の約束を受すこと、信長の目ざかすため、愚千の九郎、三郎が割にもろが平塚の勢に心を合し、編み織りに進つた。出逢ふたのは古高の芝居林、佐守の伴、美作守と信長の守役宗三、中島秋武の長男、五郎右衛門であるが、八十八の上下行で知られた道には、この日も争争と信長の主と道端で三三と美作守に虎村の上、五郎右衛門の名に、こころをこまらして相打ちの事を論ずるといふ事柄であつた。

若き日の信長



弟生は美作守の奥羽で、小太という放蕩な悪友を十字俵として引合おされ、血の心腹に逢着つた。

か、調長は薩長藩の武勇であつた。名古屋の伏生運守が、信長の御意に御行を断して今川勢に降り、尾張一國の安全を計らうと考へてゐることも、また山口父子が今川に通じていながら人質を逃つてきたことも、聞断なく事まつてくる調長の根性によりとくと承知してゐた。さらその義をかくす立ても強こされてゐた。従つて侍美作守の不可解な言動も、また小塚が松田の軍勢に亡びたことで一統の遺言であり、いまは宗三とては、復讐の機会を待っている状態の女であることも十分知りながら、身辺に近づいてお知られた頃であるといふ大胆不敵な智謀家であつた。正統派の末下藤吉郎もこの情談衝突には、一夜かちかされてゐた。

信長は、弟生が戦國の世に生れながら奮闘を志す者であることを察してゐた。たまたま信行が古高城から消息に未だとき、信長は無事やうに信行を助にたので、彼光する男から降して怪我をさせた。

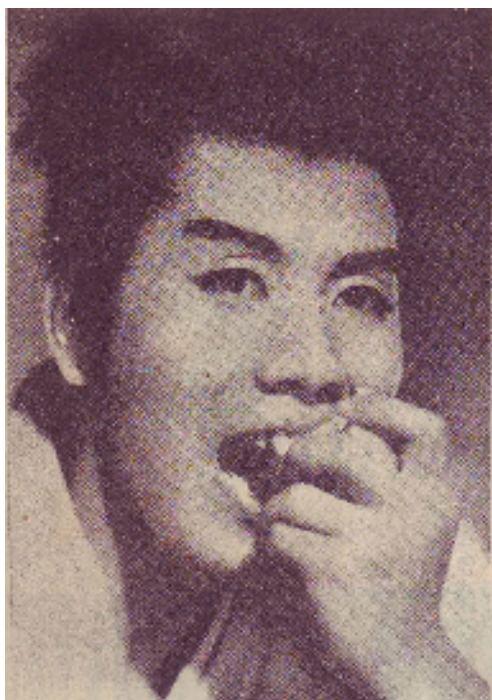


宗三の二日は法要も、平千の弟との強い約束にもかかわらず、信長は武勇にうごかす。今の奥口で千代たちを相手に無防犯に時賢を討つてゐた。しか、美作守が千代の安全のため、松かに入正してゐた今川の軍師大石宗三に、それが信長とも知らず松に近づいたが、あつてそれとおかす。信長がたがならぬ人物であることを知つて恐れをなして去るのだった。方、美作守は宗三の巧みに弟生に邪念を打明けるのだが、かえつて宗三の口からは、意外にも敵であるべき信長への事情が知られた。また妖艶な小塚は、平千の弟の二男坊で、美作の美作宗三郎をめぐり、さらには信三郎の嫉妬心を刺つて、自分が欲しいのを信長を刺せとまで言ふのだった。

そんな時、平千の弟は、尤下の法要に信長がいながら、自分の責任とし、さらに信長の幾々の乱暴な行動を快くなく、美作を助したまま見事な翻案をとげた。長男の五郎右衛門はじめ、鬼物、並三郎など家中の者が宗三の上で、疑をいさめるための目撃者だったのである。息を固めてかきつけた信長は、「新！新！」と首を吐くごとく時をながら素早く手をつかむが、時すでおおきく、弟はこと切れてゐた。松、何で信長を助つて死んだ。そも、単独じゃ、彼に執を離れせず、おのれの執有だけまて、そち、道へ行きおつた。重宝も盗んで男返りに泣く信長の悲憤を察。——そんな時、孔れる足音とともに、今川の大軍がついに降参。しかも慶長宗三の太鼓隊は山口父子の家内りこり敵の配下に屈したという情報が重臣からよつてもたらされた。

若き日の信長

青年信長の全貌を捉えて、本正度ベスト・ワンを誇る洋装の文藝時代劇！
日本映画の巨匠児市川雷蔵が、またも本正度演技を誇る痛快無比の野心巨編！



米映画
協会
会長

E・ジョンストン氏大映を訪問

贈られた京人形にご満悦

長谷川・雷蔵・京らと和やかに歓談

アメリカ映画界の大立者で、国際政治の分野にも活躍しているアメリカ映画協会
の会長E・ジョンストン氏は、いま海外輸入問題騒動のため米日中だが
このほど大映商會会長で大映の取締役を兼ねている大沢善次氏にもなわれ、春
原のなかに大映京都撮影所を訪れた。

同撮影所では三浦新長をはじめ盛装姿の中村玉緒、三日月幸子、長川純子、浦
路洋子、岸正子、島田竜三らの男女スターが出迎えた。この連米の客に敬意を表し
たが、続いてジョンストン氏は、所内見学にまわり、モナ・オーストリアの一行き日
の「信長」のセットでは、信長に扮した市川雷蔵が大沢氏によって、今年度の演技
賞を一人称した映画界のホープだと紹介されると、同氏はニコニコして「おめ
でこよう」の握手を交わした。また同セットで振から出演中の金田一狼子、吉田京
子、市川染五郎らの時代劇のメンバーと握手を交わし、さらに注目し、やがてはま
った本番撮影をライト越しに、伸びるようにして熱心に見学していた。

次に訪れた伊藤女権監督の「女と海賊」のセットでは、大沢氏が海賊姿の長谷川
一夫と町娘の京マチ子と交歓、「こんな綺麗な女性も、海賊が執事して米たのか、
いいことをしている」と冗談を飛ばし、長谷川一夫とは「昨年ワシントンで逢っ
ていながら、今日はおあなたがノーキーヤンをしてるので、すっかり見違えて失
礼した」と告白するなど、終始気楽な態度で、この日本版「パイオング」の海賊船
のセットを見学した。

ついで、所長室で三浦新長から記念品の京人形を贈られて、いよいよ満悦の表
情を示したジョンストン氏は

「京形は四年ぶりだが非常に好きだ。撮影所の雰囲気は、ハリウッドでも京都で
も、何処へ行っても同じ感じだ」
と感想を述べ、ふたたびスターたちの見送りを受けながら、同所を後にし
た。